



問 感染症対策と授業の両立のために

答 担任を始め全職員体制で取り組む



おおな みえこ 議員

問 学校再開にあたり学校教育として重視する点は何か。

答 まずは、基本的な感染症対策を徹底し、衛生管理に努めながら、児童生徒が安心・安全に過ごせるための環境づくりを重視する。学習面では、休業中の学習課題や生活状況を把握しつつ、4月・5月分の学習内容を復習する時間を設け、児童生徒一人ひとりが同じ土俵でスタートできるように配慮する。

夏休み期間の短縮等で授業時数の確保にも努める。しばらくは従来どおりの授業形態と

はいかないが、感染症対策を徹底しながらICT機器の活用、授業展開の工夫などで児童生徒一人ひとりの学習内容の定着が図られるよう取り組む。

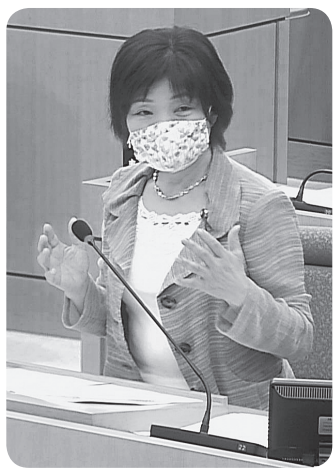
心のケアでは、約3か月間休校という非常事態に多くの子どもたちが何かしらの不安を抱えているはず。子どものSOSを見逃さないよう、担任の他、養護教諭やスクールカウンセラー、生活指導員などが連携し全職員体制で心と体の健康管理にも努める。



照沼小3年生の給食の様子

問 コロナ対策が見えないと不安の声

答 広報紙や村公式HPでお知らせ



みすずの会 えり 恵利 議員

問 コロナ禍はれつきとした災害である。感染状況は刻々と変わり、住民は村のタイムリーな情報を求めている。ネット環境がない住民や、目の不自由な方など声の情報を求める人がいる。なぜ、防災無線を使わないのか。

答 防災無線は、村内で感染者が発生するなど、緊急かつ重要な場合にのみ利用する。

問 コロナ問題に関して、役場のどこに相談すればよいのか住民は迷う。相談しやすいコロナ問題専用窓口の設置が必要と考えるが。

答 相談窓口一本化の

準備を進めていたが、現時点では各担当課で十分に対応できている。今後、状況に応じて柔軟に対応していく。

問 全ての公共施設が閉鎖され、住民活動ができないとの声がある。

答 感染拡大防止を図るため全て閉鎖した。地域住民活動に制限がかかったことは承知している。今回の経験や今後得られる知見を生かし住民活動に関する指針などを作成する。

問 誰一人孤立しない見守りの在り方は。

答 検討課題である。



最新の防災無線機
緊急時には、さまざまな方法で情報発信を

一般質問